

言葉をめぐる対話

第一夜「いるだけ支援」と「フェアメン」

言葉あつめの好きな二人が、
今日も新聞や雑誌を読みながら
何やら話し込んでいます……



新聞に「**いるだけ支援**」という
言葉を見つけたので、まずこれ
について話しましょう。福島大
学災害ボランティアセンターの
学生さんが、避難者とともに仮
設住宅に住みこむ、という活動
とにもある言葉でした。



学生さんなら、昼間は学校があ
るわけですか？



はい。朝のラジオ体操やサーク
ル活動など仮設での行事に参加
しつつ、大学に通い、授業が終
わればまた戻ってくる、という
生活のようです。



すると、もつ仮設に住んでいる
のも同然ですね。



だから最初に言いました。住み
込む、と。センターのHPにも
書いてあります。『「いるだけ支
援」とは、学生が仮設住宅に居
住することにより、仮設住宅に
住まう一生活者として簡易な生
活支援や声掛けをし、『孤立死・



関連死・自殺』をなくすという
試み』であると。



『ライ麦畑でつかまえて』を思い
出しました。将来何になりたい
かと聞かれた主人公が、ライ麦
畑でたくさん子どもたちが遊
んでいるとき、ひとり崖っぷち
に立って、崖から落ちそうにな
る子供をつかまえる役、それにな
りたいと答える。いるだけ支
援の学生さんたちに近いな、と。
なるほど。学生さんたちは、落
ちそうになる人をつかまえるた
めに、遊びの中ならぬ仮設の中
に飛び込んで生活している。実
際、若者たちの加入によって、
コミュニティに肯定的な違い
が生まれているんですね。



「肯定的な違い」って何ですか？
笑い声や活気です。

つぎの話題は「**フェアメン**」で
す。この言葉は、女性への暴力
をなくす世界的な運動・ホワイ
トリボンキャンペーンから生ま



れました。



フェアな、男？
一言でいえば、「非暴力系男子」
です。「暴力を決して振るわず、
パートナーを対等な相手とし
て尊重する男性のこと」とキャ
ンペーンのHPに説明があり
ます。



これは雑学ですが、インティメ
イト（親密）というのは、内側
を意味するラテン語の最上級な
のだそうです。つまり、心の
最も深奥でふれあうような関
係がインティメイト。そんな
パートナーに暴力をふるうの
はなぜなのか。



かけがえのない存在が自分から
離れていく不安があるのだしょ
う。それを打ち消すために相手
をコントロール下に置こうとす
る、その手段として暴力が効果
的だと考えているのです。愛す
る者が社会に出て活躍すること
も肯定的に捉えられないので
しょう。キャンペーンの発端



となった出来事が同じHPに記
されているので紹介します。
「1989年12月6日の午後、
銃とナイフを持った1人の若い
男がカナダのモントリオールに
あるエコール・ポリテクニク
大学に侵入し、女性の権利拡張
への反対を叫びながら女子学生
ばかり14人を殺害し、自殺を
図った。その後、事件の深刻
さを受けとめたカナダの男性数
人が「自分たちは男性として、
女性に対する暴力に反対の声を
上げる責任があると決意し」、
呼びかけを始めた……。

思考が停止しそうな話です。「タ
イガーマスク」の歌に、「フェ
アプレーで切り抜けて……とい
うくだりがあったのを思い出
しました。

* 梶原一騎原作のプロレス漫画。後
にテレビアニメ化され、主題歌は
「行けータイガーマスク」。
イラスト／フローラル信子

新しい連載が
始まるんです。

うれしそうに
しているけど、
何かいいことでも
あったんですか？